

令和3年度東京都教育委員会研究推進団体 教育実践発表  
**東京都算数教育研究会**



**都算研のピンバッジ**

円の中にレールローの三角形を位置付け、その中に「校舎」「先生と子供たち」「都算研シンボルマーク」を効果的に配置した斬新なデザインが特徴となっている。

**団体の概要**

東京都算数教育研究会（都算研）は、昭和 25 年（1950 年）に発足し、以来都内全ての区市町村の算数部員の研鑽と努力を結集し、その成果を東京都の子供に還元すべく、東京都教育委員会からの認定を受け、会員の献身的な取組によって活動を発展させてきた。

左のピンバッジは、本研究会創立 70 周年記念として作成した。中にあるカラフルな 4 つの三角形は都算研のシンボルマークである。この三角形は、「数学的活動」を中心に「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を表している。

**研究テーマ**

**数学的に考える資質・能力を育てる指導と評価の在り方**

本研究会では、過去 20 年以上にわたって、「数学的な見方・考え方」や「数学的な思考力・表現力」の育成に焦点を当てて研究に取り組み成果を上げてきた。学習指導要領に示された算数科で育成を目指す資質・能力とその評価の在り方について研究を深め、更なる指導の改善・充実を図っていく。

**組織と活動内容**

今年度は、各委員会に 106 名の委員が所属し、研究活動に取り組んでいる。

- **研究部**：東京都をはじめ、全国の公立小学校の算数教育の向上に寄与する。
  - ・ **研究委員会**：授業研究を中心に先進的に研究を進め、その成果を広める。
  - ・ **授業研究委員会**：授業実践を中心に研究し、よりよい授業改善を目指す。
  - ・ **実態調査委員会**：都公立小学校児童約 30 万人を対象に学力実態調査問題を作成し、調査を依頼する。実施後、その結果を集計・考察する。
  - ・ **問題作成委員会**：新領域に対応した問題を作成し実態調査委員会に提案する。
  - ・ **資料委員会**：学力実態調査結果の考察に基づいた指導改善資料を作成・検証する。
- **発表部**：本研究会の研究の成果を研究授業や発表会を通して発信する。研究発表会を毎年 10 月に行い、区市町村の各算数部からの公募を含む 6 つの授業提案と研究部の研究発表を行う。今年度は都算研 OB、都算研各委員等、参加人数を制限しての開催とする。
- **編集部**：会報及び研究紀要を編集・発行し、広報活動を行う。
- **育成部**：研究員として算数教育の中核となる教員を養成し、東京都の算数教育の向上に資する。
- **庶務部**：庶務全般を担当
- **会計部**：会計を担当

※詳しい研究の成果については、研究紀要や都算研のホームページ [<http://tosanken.main.jp/>] をご覧ください。

**代表者** 東京都算数教育研究会 会長  
三鷹市立中原小学校長 内藤和巳

**連絡先** 東京都算数教育研究会 研究部長  
調布市立布田小学校長 樋川宣登志  
☎ 042-481-7652